



福井市ジュニア大使フラトン市派遣

期間：3月25日(火)～31日(月)

第31回福井市ジュニア大使として、10名の中学生が姉妹都市・米国フラトン市を訪問しました。

初日はロサンゼルス観光からスタートし、サンタモニカやハリウッド・ハイランドを巡りました。

フラトン市では、ニコラス中学校、警察署、消防署、カリフォルニア州立大学フラトン校などを訪問。中学校では、アートやダンス、ドローンの授業に参加し、生徒たちと交流しました。また、スライドを使った福井市の紹介プレゼンテーションや書道パフォーマンスも披露し、多くの生徒が集まる中、大盛況となりました。

滞在中は、訪問先の皆さんの温かいおもてなしのおかげで、

全員が充実した時間を過ごすことができました。帰国の日には、早朝出発の私たちを気遣い、現地の姉妹都市委員会の方々がドーナツを用意してくださるなど、最後まで温かい交流が続きました。

帰国途中には、「帰りたいくない!」「また絶対フラトンに来る!」「このメンバーでまたアメリカに行きたい!」といった声があちこちから聞こえ、参加者同士の絆が深まったことを実感しました。

この1週間の経験を通じて、ジュニア大使たちは大きく成長しました。今後のさらなる活躍に期待しています!



クッキングワールドツアー

3月16日(日)、6名の外国人ゲストと料理を作りました。

スロベニアのタデイさんは、スロベニアでよく食べられるミートボールのトマトソース和えを作り、柔らかくて子どもたちにも大人気でした。フィリピンのイアンさんはアドボとグラハムボールを紹介し、特にアドボは参加者に好評でした。

マレーシアのヤーシンさんが作ったケタヤップは、ココナッツを使ったクレープで、マレーシアの朝食として親しまれています。薄く焼いた皮に甘く味付けされたココナッツフレークを包み、日本のクレープに似た味わいが新鮮でした。アメリカのハンズさんは、ハイチでよく食べられていた豆を使った炊き込みご飯を紹介し、香辛料が効いたその味わいは参加者に異国の風味を楽しませました。

ベトナムのニンさんとタオさんは揚げ春巻きを作り、具材に細かくスライスしたサツマイモを入れました。日本で見かける春巻きの皮とは異なり、フワッとしたライスペーパーで包み、サクサクした食感が特徴です。アルゼンチンのパブロさんはとうもろこしを使った料理を紹介し、コーンフラワーを使ったパウンドケーキはチーズや炒めた玉ねぎが入っており、珍しい味わいが楽しめました。

子どもたちは新しい食材に触れ、さまざまな文化を学ぶ素晴らしい機会となりました。このイベントを通じて、世界の多様性を感じ、異文化理解を深めることができました。



活動レポート

文化理解推進事業

ワールドKids くらぶ

1月18日（土曜日） インド

インド出身のカルティックさんに、インドの言語、服装、食文化を紹介していただきました。また、インドのお菓子「ソーン・パプディ」を試食させてもらいました。カルダモンのスパイスが効いており、子どもたちも楽しんで食べていました。また、インドの額に赤い点をつける顔料やボードゲームも紹介していただきました。インドならではの文化に触れる貴重な体験になりました。



2月15日（土曜日） イタリア

イタリア・ナポリ出身のパオラさんが子どもたちにイタリアの文化を紹介しました。イタリアでの挨拶や学校生活、また、カーニバルの伝統や、イタリアの代表的な料理「キアッケレ」や「ラザニア」についても紹介してくれました。特にピザ「マルゲリータ」は、イタリア国旗の色を表現した具材で作られ、マルゲリータ女王のために誕生したというお話を聞いて、子どもたちが驚いていました。また、イタリアの伝統的なゲーム「トンボラ」も楽しみました。



ワールドトークくらぶ

1月11日 インドネシア

インドネシア出身のマヨンガさんが、インドネシアの食文化や日常生活、経済格差、日本との文化の違いについて話してくれました。インドネシアでは相づちを打つ習慣がなく、目上の人と目を合わせるのも失礼とされるため、日本の職場文化に慣れるのに苦労したそうです。食品製造の仕事をしているマヨンガさんは、日本とインドネシアの食文化を比較しながら紹介し、「まごわやさしい」という日本の食に関する言葉を知っていて、参加者は驚いていました。来日8カ月ながら食文化に詳しく、貴重なお話を聞かせていただきました。



3月22日（土） マレーシア

福井大学の留学生、ヤーシンさんに、マレーシアの文化や福井での生活についてお話を伺いました。

ヤーシンさんは、日本の四季を特に気に入っており、季節ごとに異なる文化や食べ物があることを「日本の魅力のひとつ」と話していました。また、来日後まもないゴールデンウィークから、大学生が地域住民や行政と連携しながら、地域の課題や魅力について自らの視点で考え、企画したプロジェクトを実行する実践型の地域活動竹田 T キャンプに参加しています。

「日本の田舎生活や伝統に興味があり、日本人と深く関わりたい」と思い参加したそうで、仲間とともにプロジェクトを実行し、地域の方々と交流しながら、充実した日々を送っています。そんなヤーシンさんが、この1年間で最も心に残った言葉は、竹田に行く住民の方々がかけてくれる

「お帰り」。

母国を離れ、日本で暮らすヤーシンさんにとって、「お帰り」と迎えてもらえる場所があることが、本当に嬉しかったそうです。ヤーシンさんのこの言葉に、涙ぐむ参加者もありました。



やさしい日本語推進事業

「外国人と一緒に考えよう！やさしい日本語ワークショップ」

3月8日（土）、ダイバーシティとやまの柴垣禎氏を講師に迎え、外国の方々と一緒に、やさしい日本語の表現について考え、実際に書き換えるワークに取り組みました。

今回の題材は、事前に外国の方々へ聞き取りを行い、普段「分かりにくい」と感じる文章やお便りをピックアップしました。どのグループも、ただ言葉をやさしい日本語に言いかえるのではなく、大切なことを正しく伝え、相手が考えたり行動したりできるようにするために、活発に意見交換をしながら取り組んでいました。



外国人講師派遣事業

○1月7日（火）すずらん児童館

台湾出身の留学生、テイさんが台湾の文化を紹介しました。まず、台北 101 で行われたお正月のカウントダウン花火の動画を見せてもらい、その迫力に驚きました。夜市の様子も教えてくれ、日本の夏祭りに似た雰囲気子どもたちは「行きたい！」と大興奮！台湾の学校では朝食を買って食べたり、お昼寝の時間があることにも驚きの声が上がりました。紹介の後はウイルスゲームで大盛り上がり！



テイさんは子どもたちに大人気で、最後には子どもたちとドッジボールを楽しみました。

○1月9日（木）さつき児童館

韓国出身の留学生、キムさんが韓国を紹介しました。韓国の音楽では、K-POP だけでなく若者にも人気が広がる「トロット」についても説明しました。子どもたちは○×クイズに挑戦し、不正解だった子はリベンジで K-POP ダンスを踊りましたが、恥ずかしがることなく元気に踊る姿が印象的でした。最後は韓国の伝統遊び「チェギチャギ」に挑戦。ボールとは違い難しそうでしたが、みんな一生懸命に蹴り上げていました！



○2月5日（水）宝永公民館

ベトナム出身のホアさんが、ベトナム料理を紹介しました。作ったのは揚げ春巻きとブン料理です。ホアさんはベトナムの麺の種類や北部と南部の調理法の違いを説明し、使用したブンは米粉で作られた麺で、フォーより一般的だそうです。春巻きの具材は日本の春巻きと似ていましたが、ナンプラーで味付けし、ブンはナンプラー、レモン、ニンニク、にんじんを使ったソースで食べました。参加者はブンを特に気に入ったようで、どこで買えるのか、パッケージを見せてほしい…などホアさんにたくさん質問していました。



青少年作品交流事業

○「水原市小・中学生国際交流作品展」授賞式

1月25日、福井市の小中学生が参加した「水原市小・中学生国際交流作品展」の授賞式が開催されました。

テーマは「私が描いた地球」で、福井市内から51点の応募があり、11点が水原市の展示会に出展されました。展示会には10か国12都市から350点が展示され、1,000名以上が鑑賞しました。授賞式では銅賞を受賞した児童が表彰されました。また、水原市での作品展の様子は下記 URL からご覧いただけます。 <https://youtu.be/5wQCU11YP3M>



○「姉妹友好都市全米アートコンクール」授賞式

3月28日（金）、姉妹友好都市全米アートコンクール授賞式を開催しました。本年度は、中学生部門から44点、高校生部門から31点、合計75点の応募があり、その中から最優秀賞3名、優秀賞3名、入選4名が選ばれました。

今年のテーマは、

「Friendship: The Heartbeat of Global Peace.

～友情・世界平和の鼓動～」

一見、難しく感じるテーマかもしれませんが、一人でも多くの方、とりわけ次世代を担う若い世代がこのテーマについて考えることは、大変意義深いことです。

最優秀賞に輝いた3名の作品は、アメリカ本選へ提出されました。結果は今年の夏頃に発表される予定です。



※日程の変更の可能性もあります。最新のスケジュールは協会 HP をご確認ください。

今後のスケジュール

4月

- 日本語サポートクラス
日時：5日、12日、19日、26日（土）
10：00-11：30
会場：ふくい市民国際交流協会 会議室
- 韓国水原市とのオンライン交流
日時：7日（月）19：00-20：30
- しゃべり場
日時：13日（日）10：00-12：00 ハピリン交流広場
27日（日）10：00-12：00 地域交流センター

5月

- 日本語サポートクラス
日時：10日、17日、24日、31日（土）
10：00-11：30
会場：ふくい市民国際交流協会 会議室
- 韓国水原市とのオンライン交流
日時：12日（月）19：00-20：30
- しゃべり場
日時：11日（日）10：00-12：00 ハピリン交流広場
- 水原市ジュニア大使受入
期間：21日（水）～27日（火）
- 外国の人のための防災まちあるき
日時：30日（金）14：00-16：00
会場：地域交流センター

6月

- 日本語サポートクラス
日時：7日、14日、21日、28日（土）
10：00-11：30
会場：ふくい市民国際交流協会 会議室
- 韓国水原市とのオンライン交流
日時：2日（月）19：00-20：30

- グローバルフェスタ 2025
日時：15日（日）11：00-15：00
会場：ハピテラス
- 福井市総合防災訓練に外国の方と参加
日時：22日（日）8：00-10：30
会場：順化小学校
- 第1回浴衣で養浩館ウォーク
日時：29日（日）9：30-12：00
会場：福井県国際交流会館、養浩館庭園

7月

- 日本語サポートクラス
日時：5日、12日、19日（土）
10：00-11：30
会場：ふくい市民国際交流協会 会議室
- 韓国水原市とのオンライン交流
日時：7日（月）19：00-20：30
- 第2回浴衣で養浩館ウォーク
日時：12日（土）9：30-12：00
会場：福井県国際交流会館、養浩館庭園
- しゃべり場
日時：13日（日）10：00-12：00 ハピリン交流広場
27日（日）10：00-12：00 地域交流センター

北陸都市国際交流連絡会 研修会
今年度は福井が幹事県になります。みなさまぜひご参加ください！

日時：7月5日（土）13：30-17：00
会場：地域交流センター
「福井における地域と外国人のつながり
～福井県内の各地の取り組みを知る～」

【事例発表団体】

学生団体 with
足羽高等学校
吉勝重建
合同会社コンテンツラボ
越前市みんなの食堂